

施設カルテ

【基本情報】

				報告日	自動計算
資産番号	5-(10)-1	施設用途	医療施設	報告日	2025/9/30
主幹部署	医療管理課	地区区分	東吾野地区	施設構造	01.鉄筋コンクリート造
施設名称	東吾野医療介護センター	建物名称	本館	所在地	虎秀25-1
建築面積(㎡)	1,179.46	延床面積(㎡)	3,355.15	建築年度(年)	1983
階建/階	地上3階地下1階建	建物取得価額(円)	557,446,021	耐用年数(年)	50
用途地域	なし	建ぺい率(%)	60%	公債残高	0
敷地面積(㎡)	2,728.00	貸室面積(㎡)		容積率(%)	200%
営業時間	9-12時/14-17時	休日	日、祝日、年末年始	部屋数(室)	2
身障者用トイレ	有	手すり	有	駐車場(台)	30
自動ドア	有	点字ブロック	有	スロープ	有
自然エネルギー	無	屋上・壁面緑化	無	車いす用エレベーター	有
アスベスト	無	アスベスト対策完了日	-	LED化	有
耐震基準	【新耐震基準】 (昭和56年6月以降建築)	代替電源設備	有	冷暖房設備	有
耐震補強実施	不要	通信設備	有	調理設備	有
耐震診断完了日	-	避難所指定	無	入浴設備	有
耐震補強完了日	-	備蓄倉庫	無	計画収容人数(人)	-
正規職員(人)	0	会計年度任用職員(人)	0	運営方法	指定管理
設置目的	医療介護施設				

【歳入】

(単位:円)

科目	令和4	令和5	令和6
使用料	12,218	10,524	10,513
手数料	753,500	630,300	554,730
その他収入	50,417,000	63,903,656	54,643,083
歳入合計	51,182,718	64,544,480	55,208,326

【歳出】

(単位:円)

科目	令和4	令和5	令和6
修繕料(施設)	12,439,900	4,261,400	994,400
手数料	902,200	6,699,000	902,200
委託料	129,869,500	123,632,300	130,863,730
備品購入費	3,817,000	11,698,390	2,940,850
その他支出	49,744	65,058	69,157
その他支出	3,135,000	34,870,000	0
人件費	0	0	0
歳出合計	150,213,344	181,226,148	135,770,337

【利用状況】

年度	令和4	令和5	令和6
営業日数(日)	365	366	365
施設利用人数(人)	29,653	30,283	30,232
1日当たり施設利用人数(人/日)	81	83	83

【その他】

	完了年月日	改修費用(円)	改修内容
改修	令和4年12月19日	6,534,000円	外壁等修繕
	令和5年3月9日	5,905,900円	浄化槽・雑排水槽ポンプ取替え修繕
	令和5年3月22日	3,135,000円	地下タンク電気防食工事
	令和5年11月15日	4,261,400円	厨房ほか2室空調機取替え修繕
	令和6年2月29日	34,870,000円	受水槽取替え等改修工事
	令和6年11月20日	682,000円	オイルギヤポンプ取替え修繕
	令和6年11月26日	312,400円	空調薬注装置流量計等交換修繕
劣化状態	不具合の箇所	不具合の状況	
	給湯器	経年劣化により不具合があるため、交換が必要(R7対応)	
	防煙シャッター	動作不良があるため交換が必要(R7対応)	
	受変電設備(キュービクル)	耐用年数を過ぎているため、設備全体の更新を検討している。(R8以降対応予定)	
	雑用水ポンプ	R6年度に異常な振動を確認。設置から年数が経過しているため交換を検討している。故障した場合、トイレの水が流せなくなる。(R8以降対応予定)	
	ナースコール設備	頻繁ではないものの、時々不具合があるため、設備全体の入れ替えを検討中。	
	ボイラー設備	経年劣化により故障が増える時期に差し掛かっているが、メーカーが既に取り扱いを終了しており、部品供給がまもなく終了となるため、設備全体の交換を検討中(現時点では不具合の報告はなし)	
浄化槽	経年劣化により交換の検討が必要		
特記事項 (個別施設計画を踏まえ担当者として特に取り組んだこと)			
<p>経年劣化により、施設のあらゆる箇所で不具合が出始めている。 個別施設計画に沿って対応しているものの、突発的な不具合も多いため、指定管理者による修繕も含め、施設運営に影響が出ないように対応している。</p>			
懸念事項、施設の方向性			
<p>入院患者及び施設入所者がおり、常に稼働している医療介護施設であることから、施設・設備の不具合等により施設の機能が停止するようなことがあってはならない。定期的に点検を行い、状況を把握するとともに、計画的な修繕を実施していく必要がある。</p>			